BUFFALO

LinkStation™ ネットワーク ハードディスク ～簡単接続ガイド～

はじめにお読みください

1 パッケージの内容を確認します。

確認した項目には✓を付けてください。

万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
なお、製品の形状はイラストと異なる場合があります。

- ☐ LinkStation本体 1台
- ☐ 電源ケーブル 1本
- ☐ LANケーブル(ストレート) 1本
- ☐ ユーティリティCD(ハイブリッドCD-ROM) 1枚
  - ※次のものが収録されています。
    - ・NAS Navigator(LinkStationのハードディスク容量を表示/Mac OS 10.3以降&Windows)
    - ・簡単バックアップ(パソコンのデータをバックアップ/Windows)
    - ・LinkStation設定ガイド(Mac OS&Windows)
    - ・AcrobatReader(PDFファイル閲覧ソフトウェア/Windows)
- ☐ DLNA対応機器で使用するには 1枚
- ☑ はじめにお読みください(本紙) 1枚

※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。
※別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

2 本製品を縦置きの向きに設置します。

電源/LANケーブルは まだ 接続しないでください。

各部の名称

①電源スイッチ
電源ON：電源スイッチを押します。
電源OFF：電源スイッチを2秒間押し続けます。

②電源ランプ
電源ON：緑色に点灯
電源OFF：消灯
起動中/終了中：緑色に点滅

③LINK/ACTランプ
緑色に点灯：リンク時
緑色に点滅：アクセス時

④INFOランプ
メッセージがあるときに橙色に点滅します。詳しくは付属のユーティリティCDに収録されている「LinkStation設定ガイド」をお読みください。

⑤ERRORランプ
エラーが発生したとき赤色に点滅します。詳しくは付属のユーティリティCDに収録されている「LinkStation設定ガイド」をお読みください。

⑥電源コネクタ
付属の電源ケーブルを接続します。

⑦ファン
ファンを塞ぐような設置はしないでください。

⑧盗難防止用ワイヤーホール
市販のワイヤーなどで固定することができます。

⑨初期化スイッチ
LinkStation動作時(電源ランプ点灯)に、ボールペンの先などで3秒間押し続けると、本製品の設定内容(IPアドレス、イーサネットフレームサイズ設定、管理者パスワード)が出荷時設定に変更されます。

⑩LANポート
LANケーブルを接続します。

⑪USBコネクタ(USB2.0/1.1 シリーズA)×2
ハードディスク、USBプリンタ、USBフラッシュ、デジタルカメラ、カードリーダ、Link de 録!!対応弊社製USBキャプチャBOXを増設できます。

⑫アースグラウンド
市販のアース線を別途購入し、接地してください。

⑬フック
電源ケーブルを抜けないように、フックにかけて固定します。

3 コンピュータ本体の電源スイッチをONにし、コンピュータを起動します。

※DHCPサーバが設定されている環境では、本製品をネットワークに接続して電源スイッチをONにするだけで使用することができます(必ず電源スイッチをONにするより先に、本製品をネットワークに接続してください)。
但しこの場合、日時設定、ネットワークドライブ割り当て等が設定されておりません。これらを自動設定する手順4以降を行うことをおすすめします。

※ウィルス対策ソフトやOSでファイアウォール機能を有効に設定している場合、本製品をセットアップする前に必ず無効にしてください。有効に設定されていると、本製品をセットアップできないことがあります。設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。セットアップ後に、ファイアウォール機能の設定を元に戻してください。

4 付属のユーティリティCDをコンピュータにセットします。

※画面の色数は、約32000色(High Color16ビット)以上に設定しておいてください。256色以下では、LinkNavigatorの画面が正しく表示されません。

**以下の手順は、Mac OS X 10.3以降での手順です。
Windowsをお使いの場合は、本紙うら面をお読みください。**

※Mac OS X 10.2.8以前をお使いの場合は、付属のユーティリティCDに収録されている「LinkStation設定ガイド」-「LinkStationをネットワークドライブに割り当てたい」を参照してください。

5 ユーティリティCD内の[LinkNavigator]アイコン をダブルクリックします。

LinkNavigatorが起動します。

6

最初のセットアップか、2台目以降のコンピュータへのセットアップかで手順が異なります。

最初のセットアップ(1台目のコンピュータへのセットアップ)

[かんたんスタート]をクリックし、画面の指示にしたがって本製品を取り付け、ユーティリティをインストールします。「設定完了です」と表示されたら、[完了]をクリックしてください。

2台目以降のコンピュータへのセットアップ

セットアップ完了後に、セットアップしたコンピュータとは別のコンピュータでLinkStationを使用するための手順です。

[NAS Navigatorのインストール]をクリックし、画面の指示にしたがってインストールしてください。

7 デスクトップの[NAS Navigator]アイコン をダブルクリックします。

8

[フォルダを開く]をクリックします。

以降は、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてお使いください。

以上でセットアップは完了です。

DLNA対応機器でLinkStationをビデオサーバーとして使用する方は、続いて別紙「DLNA対応機器で使用するには」を参照して設定してください。

ソフトウェアのご紹介(Mac OS)

付属のユーティリティCD(LinkNavigator)では、次のソフトウェアをMac OS X 10.3以降へインストールします。

[BUFFALO NAS Navigator]

LinkStationの共有フォルダを開く時や、LinkStationの検索・表示・設定するときに使用するソフトウェアです。LinkNavigatorの[かんたんスタート]をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。

※NAS Navigatorをアンインストールしたいときは、NAS Navigatorのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップしてください。

トップ画面

LinkStationのデータをバックアップするには(Mac OS)

LinkStationのデータを他のLinkStation、増設したUSB接続ハードディスクにバックアップしたい

▼

LinkStationの設定画面で行います。

※バックアップ手順は付属のユーティリティCDに収録されているLinkStation設定ガイド(HTML形式)を参照ください。
※LinkStation/TeraStation専用フォーマット(EXT3形式、XFS形式)でフォーマットしたUSB接続ハードディスクを直接パソコンに接続しても読み出すことはできません。
※USBハードディスクがFAT32/16形式でフォーマットされている場合、1ファイル2GB以上のデータはバックアップできません。

LinkStationにハードディスクを接続するには(Mac OS)

LinkStationの背面には、USB2.0/1.1コネクタ(シリーズA)を搭載しています。USBコネクタにはハードディスクを接続して使うことができます。
接続・設定手順は付属のユーティリティCDに収録されているLinkStation設定ガイド(HTML形式)をお読みください。
対応ハードディスクについては、「仕様」欄記載の対応USB機器をご参照ください。

画面で見るマニュアルの読み方 「LinkStation設定ガイド」Mac OS & Windows

LinkNavigatorで、[マニュアルを読む]をクリックしてください。LinkStation設定ガイド(HTML形式)が表示されます。

LinkStaion設定ガイドには、「困ったときは」「ネットワークドライブ割り当て手順」「バックアップ方法」「FTPサーバ機能設定方法」「アクセス制限設定方法」「フォーマット」「パスワードの変更」などが記載されています。

LinkNavigatorトップ画面

※LinkStaton設定ガイドはInternet Explorer6以降、またはFirefox1.5以降でご覧ください。バージョンが古いと正常に表示できません。古いときは最新のバージョンにアップデートしてください。

仕様

最新の情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)をご参照ください。

●LANポート
規格：1000BASE-T：IEEE802.3ab準拠
　　　100BASE-TX：IEEE802.3u準拠
　　　10BASE-T：IEEE802.3準拠
コネクタ：RJ-45型8極コネクタ
アクセス方式：CSMA/CD方式
転送速度：1000Mbps全二重(自動認識)
　　　　　100Mbps全二重/半二重(自動認識)
　　　　　10Mbps全二重/半二重(自動認識)
※LinkStationはLAN接続タイプのハードディスクです。パソコンのUSBコネクタに接続して使用することはできません。

●対応プロトコル
TCP/IP、AppleTalk

●対応ネットワークファイルシステム
SMB/CIFS、AFP、FTP

●Jumbo Frameフレーム長
1,518/4,102/7,422/9,694 Bytes
(ヘッダ14Bytes+FCS 4Bytes含む)

●最大消費電力
25W(LinkStationのUSBコネクタ未使用時)

●フォーマット
出荷時にフォーマット済み

●動作環境
温度：5～35℃　湿度：20～80%(結露なきこと)

●USB2.0/1.1コネクタ(シリーズA)×2搭載
対応USB機器(USBハブやリムーバブル機器の接続には対応しておりません。)
※対応機器については、弊社ホームページ(buffalo.jp)でご確認ください。

・弊社製USB接続ハードディスク
※対応ハードディスク製品名は弊社ホームページに記載しています。ハードディスクを購入前にあらかじめご確認ください。
※DUB/DIUシリーズは非対応です。
※ハードディスクの接続は2台までです。
※第1パーティション(領域)のみ認識されます。第2パーティション以降は認識できません。
※LinkStationにHD-DU2シリーズを接続して使用すると、HD-DU2シリーズのダイレクトコピー機能を使用できません。ダイレクトコピー機能を使用したいときは、HD-DU2シリーズをパソコンに接続し、HD-DU2シリーズ付属のフォーマッタでフォーマットしてください。

・USBフラッシュ、デジタルカメラ、カードリーダ(2個以上のメモリカードを認識できるカードリーダを除く)、Link de 録!!対応弊社製USBキャプチャBOX

・USB接続プリンタ(LinkStationはプリントサーバ機能を搭載しています。)
※プリンタの接続は1台までです。また、双方向通信には対応しておりません(インク残量などプリンタのステータスは取得できません)。
※複合機能搭載プリンタを接続した場合、プリンタ機能のみ使用できます。その他の機能(スキャナ、カードリーダー、FAXなど)を使用することはできません。
※次のプリンタには非対応です。双方向通信のみ対応のプリンタ、WPS(Windows Printing System)プリンタは使用できません。
※Macintoshでは本製品にプリンタを接続して使用することはできません。

セットアップできないときは Mac OS & Windows

LinkNavigatorでセットアップできないとき、セットアップしてもLinkStationが使用できないときの代表的な現象と原因を以下に記載します。

原因1.LANケーブルが接続されていない
電源ケーブルとLANケーブルを接続し直し、再度LinkStationの電源スイッチをONにしてください。

原因2.ファイアウォール機能が有効となっている、常駐ソフトがインストールされている
ファイアウォール機能を無効にする、またはファイアウォール機能が有効となっているソフトをアンインストールして再度検索をお試しください。

原因3.無線、有線アダプタがそれぞれ有効になっている
LinkStationに接続するためのLANアダプタ以外を無効にしてください。無効にする手順の例は次のとおりです。

Mac OS X 10.3.9以降
1. アップルメニューで[システム環境設定]をクリックします。
   システム環境設定ウィンドウが表示されます。
2. [ネットワーク]アイコンをクリックします。
   ネットワークウィンドウが表示されます。
3. [表示]から使用不可にするアダプタ名を選択し、[TCP/IP]タブの[IPv4の設定]メニューの[切]を選択します。
4. [今すぐ適用]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows Vista
1. [コンピュータ(またはマイコンピュータ)]を右クリック→[管理]をクリックします。
2. [デバイスマネージャ]－[ネットワークアダプタ]の「+」をクリックします。
3. 使用不可にするネットワークアダプタ名の接続アイコンを右クリックし、[無効]をクリックします。
4. [このデバイスを無効にすると機能しなくなります]と表示されたら、[はい]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows XP
1. [スタート]－[コントロールパネル]をクリックします。
2. ([ネットワークとインターネット接続])－[ネットワーク接続]をダブルクリックします。
3. 使用不可にするネットワークアダプタ名の接続アイコンを右クリックし、[無効にする]をクリックします。

以上で設定は完了です。

Windows 2000
1. [スタート]－[設定]－[ネットワークとダイヤルアップ接続]をクリックします。
2. 使用不可にするネットワークアダプタ名の接続アイコンを右クリックし、[無効にする]をクリックします。

以上で設定は完了です。

原因4.LANケーブルの不良、または接続が不安定になっている
接続するハブのポートやLANケーブルを変更してお使いください。

原因5.お使いのLANボード/カード/アダプタが故障している
LANボード/カード/アダプタを変更してお使いください。

原因6.お使いのLANボードやハブの伝送モードが設定されていない
LANボードやハブ側で伝送モードを[10M半二重]または[100M半二重]に変更してください。LANボードやハブによっては、伝送モードが[Auto Negotiation](自動認識)に設定されていると、ネットワークに正しく接続できないことがあります。

原因7.ネットワークブリッジが存在する
使用していないネットワークブリッジが構成されている場合は、削除してください。

原因8.異なるネットワークから検索を行っている
ネットワークセグメントを超えて検索を行うことはできません。検索するパソコンと同一のセグメントにLinkStationを接続してください。

原因9.TCP/IPが正しく動作していない
LANアダプタのドライバを再インストールしてください。

共有フォルダが突然開かなくなってしまったときは Mac OS & Windows

お使いのネットワーク環境によっては、IPアドレスが変更されたり、ワークグループが変更されたときなど、ネットワークドライブに割り当てたアイコンや、ショートカットアイコンからでは、突然LinkStationにアクセスできなくなってしまうことがあります。このようなときは、次の手順で共有フォルダを開いてください。

※NAS Navigatorは、LinkStationを検索し、フォルダを簡単に開く便利なユーティリティです。付属のユーティリティ(LinkNavigator)でインストールすることができます。

Mac OS X 10.3以降をご利用のお客様へ

< フォルダを開く/マウントする >

付属のNAS Navigatorを使って簡単にLinkStationのshareフォルダをデスクトップ画面にマウントすることができます。

1 [NAS Navigator]アイコンをダブルクリックします。
　※ユーティリティCDでインストール後、NAS Navigatorはデスクトップにコピーされます。
2 [フォルダを開く]をクリックします。
3 LinkStationの共有フォルダを選択し、[OK]をクリックします。
　LinkStationのshareフォルダがデスクトップ画面にマウントされます。

※以上の方法で改善できない場合は、LinkStationの設定画面で、[ディスク管理]-[ディスクチェック]-[Mac OS の固有情報を削除]を選択しディスクチェックを実行してください。

※Mac OS 8.6～Mac OS X 10.2.8をお使いの方、shareフォルダ以外の共有フォルダをネットワークドライブに割り当てたい方は、画面で読むマニュアル(LinkStation設定ガイド)をお読みください。

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98をご利用のお客様へ

< フォルダを開く >

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[BUFFALO NAS Navigator]-[BUFFALO NAS Navigator]をクリックします。NAS Navigatorが起動します。
2 [フォルダを開く]をクリックします。
　LinkStationの共有フォルダが開きます。

※Windows 95/NT4.0/Windows Server 2003をお使いの方や、shareフォルダ以外の共有フォルダをネットワークドライブに割り当てたい方は、画面で読むマニュアル(LinkStation設定ガイド)をお読みください。

ここに記載された手順でもフォルダを開けないときは、物理的に接続されていない、正常にLinkStationが認識されていない可能性があります。LANケーブルを接続しなおし、パソコンおよびLinkStationを再起動してください。

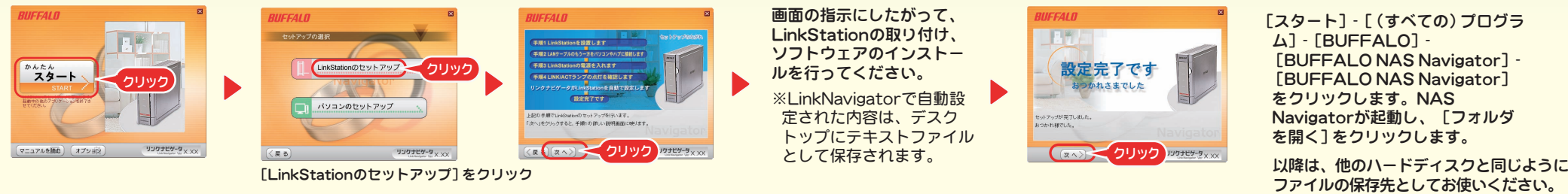
▶ うら面へ続く

▶ おもて面からの続き

Windowsをお使いの方へ

Windows Vista/XP/2000/Me/98SE/98をお使いの場合、本ページに記載の手順にしたがってセットアップしてください。
※Windows 95/NT4.0、Windows Server 2003をお使いの方や、shareフォルダ以外の共有フォルダをネットワークドライブに割り当てたい方は、画面で読むマニュアル（LinkStation設定ガイド）をお読みください。

最初のセットアップ（1台目のパソコンへのセットアップ）

最初のセットアップ（1台目のパソコンへのセットアップ）は、付属のユーティリティCDをパソコンにセットし、次の手順でセットアップしてください。

［LinkStationのセットアップ］をクリック

画面の指示にしたがって、LinkStationの取り付け、ソフトウェアのインストールを行ってください。
※LinkNavigatorで自動設定された内容は、デスクトップにテキストファイルとして保存されます。

［スタート］-［（すべての）プログラム］-［BUFFALO］-［BUFFALO NAS Navigator］-［BUFFALO NAS Navigator］をクリックします。NAS Navigatorが起動し、［フォルダを開く］をクリックします。

以降は、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてお使いください。

※セットアップできない（LinkStationが認識されない）ときは：本紙おもて面の「セットアップできないときは」をお読みください。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、［LSNavi.exeの実行］をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックしてください。
※DLNA対応機器でLinkStationをビデオサーバーとして使用する方は、続いて別紙「DLNA対応機器で使用するには」を参照して設定してください。

2台目以降のパソコンで使用する方へ

2台目以降のパソコンで使用するには、付属のユーティリティCDをパソコンにセットし、次の手順でセットアップしてください。

［パソコンのセットアップ］をクリック

［スタート］-［（すべての）プログラム］-［BUFFALO］-［BUFFALO NAS Navigator］-［BUFFALO NAS Navigator］をクリックします。NAS Navigatorが起動し、［フォルダを開く］をクリックします。

以降は、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてお使いください。

※セットアップできない（LinkStationが認識されない）ときは：本紙おもて面の「セットアップできないときは」をお読みください。
※Windows Vistaをお使いの場合、自動再生の画面が表示されたら、［LSNavi.exeの実行］をクリックしてください。また、「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら、［続行］をクリックしてください。

LinkStationの内蔵ハードディスク内「INFO」フォルダの中には、ユーティリティCDに収録されているマニュアルやNAS Navigator、簡単バックアップのインストールプログラムが収録されています。ネットワーク内のパソコンでマニュアルを読みたいとき、ユーティリティを使いたいときにインストールしてお使いください。

［INFO］フォルダ
- ［manual］フォルダ
  - index.html .... LinkStation設定ガイド（HTML形式）を読むことができます。ユーティリティCDに収録されているマニュアルより新しい（記述が更新されている）ことがあります。あらかじめご了承ください。
- ［NASClient］フォルダ
  - Setup.exe .... NAS Navigatorをインストールできます。使い方についてはLinkStation設定ガイド（HTML形式）を参照してください。
- ［HdBackup］フォルダ
  - Setup.exe .... 簡単バックアップをインストールできます。使い方については簡単バックアップの使いかた（PDFファイル）を参照してください。
  - Hdbackup.pdf .... 簡単バックアップの使い方が記載されています。読むにはパソコンにAcrobatReaderがインストールされている必要があります。

パソコンやLinkStationのデータをバックアップするには（Windows）

パソコンのデータをLinkStationにバックアップしたい

付属の簡単バックアップで行います。

LinkStationのデータを他のLinkStation、増設したUSB接続ハードディスクにバックアップしたい

LinkStationの設定画面で行います。

※バックアップ手順は付属のユーティリティCDに収録されているLinkStation設定ガイド（HTML形式）を参照ください。
※LinkStation/TeraStation専用フォーマット（EXT3形式、XFS形式）でフォーマットしたUSB接続ハードディスクを直接パソコンに接続しても読み出すことはできません。
※USBハードディスクがFAT32/16形式でフォーマットされている場合、1ファイル2GB以上のデータはバックアップできません。

LinkStationにハードディスクやプリンタを接続するには（Windows）

LinkStationの背面には、USB2.0/1.1コネクタ（シリーズA）を搭載しています。USBコネクタにはハードディスクやプリンタを接続して使うことができます。
接続・設定手順は付属のユーティリティCDに収録されているLinkStation設定ガイド（HTML形式）をお読みください。
対応ハードディスク、プリンタについては、おもて面「仕様」欄記載の対応USB機器をご参照ください。

画面で見るマニュアルの読み方（Windows）

本製品には画面で見るマニュアルが付属しています。読み方については、本紙おもて面「画面で見るマニュアルの読み方」をご参照ください。

ソフトウェアのご紹介（Windows）

付属のユーティリティCD（LinkNavigator）では、次のソフトウェアをWindowsへインストールすることができます。
セットアップ中に表示される選択画面でソフトウェアを選んでインストールします（LinkNavigatorの［オプション］をクリックし、画面の指示にしたがってインストールすることもできます）。

［BUFFALO NAS Navigator］

LinkStationの設定画面の表示や、ネットワークからLinkStationを検索するためにNAS Navigatorが必須です。LinkNavigatorの［かんたんスタート］をクリックしてセットアップすると、必ずインストールされます。

トップ画面

［簡単バックアップ］

パソコンのデータをLinkStationにバックアップしたいときに便利なユーティリティです。使いかたについてはセットアップ後に、［（すべての）プログラム］-［BUFFALO］-［簡単バックアップ］-［簡単バックアップ マニュアル］をご参照ください。
※Windows 95/NT4.0、Windows Server 2003、Mac OSでは使用できません。
※LinkStationのデータをバックアップしたいときは、LinkStationの設定画面で行います。

トップ画面

［Acrobat Reader］

マニュアルには一部PDFファイルが含まれています。PDFファイルを読むにはパソコンにAcrobatReaderがインストールされている必要があります。Acrobat Readerがない環境をお使いの場合にインストールしてください。使いかたについてはAcrobat Readerのヘルプを参照してください。

※インストールしたソフトウェアを削除するには、LinkNavigatorの［オプション］-［ソフトウェアの削除］をクリックしてください。以降は画面の指示にしたがって操作します。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

強制　本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止　本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁止　AC100V（50／60Hz）以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制　電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止　電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。
- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしないでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制　電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする危険があります。

強制　小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制　濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く　煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止　風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く　本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く　本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止　電源ケーブル（またはACアダプタ）、信号ケーブルは必ず本製品付属のものをお使いください。
本製品付属以外の電源ケーブル（内部接続用含む）、ACアダプタ、信号ケーブルをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火のおそれがあります。

強制　静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

ハードディスクの破棄・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。
ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしましても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
詳しくは、http://buffalo.melcoinc.co.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。
LinkStationのデータを完全消去するには、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

GPL/LGPLライセンスについて

本製品は、GPL/LGPLの適用ソフトウェアを使用しており、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。オープンソースとしての性格上著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により弊社による保証がなされています。
GPL/LGPLのライセンスについては、添付CD-ROM内 GNU_LICENSE.PDF をご覧下さい。
変更済みGPL対象モジュール、その配布方法については、弊社サポートセンターにご連絡ください。配布時発生する費用は、お客様のご負担となります。

本製品について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

受信障害について

ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
- 本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
- 本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

⚠ 注意

強制　パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止　次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ →故障や変形の原因となります。
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ→故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ →故障や感電の原因となります。

強制　本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（MOディスク、CD-R／RW、DVD等）にバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
- 誤った使い方をしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 故障、修理などのとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制　各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
故障の原因となります。

禁止　本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

禁止　シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

禁止　本製品へのアクセス中は、本製品から電源ケーブルを抜いたり、電源スイッチをOFFにしないでください。
データが消失、破損する恐れがあります。

強制　本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

お問い合わせ・修理窓口・備品販売窓口

お問い合わせ・修理窓口・添付品の販売については、以下の順にてご確認いただきますようお願い致します。
マニュアル（印刷物、添付CD等）の設定内容・困ったときは（Q&A）をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新Q&A情報、最新ドライバ・ファームウェア**をご確認ください。
サポート情報　**86886.jp**（ハローバッファロー）（http://www 不要）

上記で改善しない場合は、**バッファローサポートセンター**へお問い合わせください。
お問い合わせの際は、以下「必要な情報」③～⑦をあらかじめご確認ください。

インターネット（Eメール）でのお問い合わせ先
Webサポート　86886.jp/mail/（http://www不要）
※左記URLから画面に従って進み、表示されるお問合せフォームより質問をお送りください。

電話でのお問い合わせ先　※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。

東京第1センター	**03-5781-7260** 月～土 9:30～19:00	東京第2センター	**03-5365-3101** 日～土 9:30～19:00
IP電話*1	**050-3101-0084** 月～土 9:30～19:00	名古屋	**052-619-1188** 月～金（祝日除く）9:30～17:00

*1 NTT固定電話からは全国一律 11.34円/3分で利用可能。（注）営業日は、上記のほか年末年始、法定点検日など休業する場合があります。

手紙でのお問い合わせ先
〒457-8570 名古屋市南区豊田3-3-5　（株）バッファロー　サポートセンター宛

修理は以下の**バッファロー修理センター**までご依頼ください。※修理品送付の前に弊社への連絡は不要です。

保証書について	修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理web予約	弊社ホームページより修理のweb予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。**86886.jp/shuri/**（http://www 不要）
送付先住所	〒457-8570　愛知県名古屋市南区豊田3-3-5 株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号	**052-698-7330** ※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。月～金（祝日を除く）9:30～12:00　13:00～17:00
送付いただく物	本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理依頼票（*） *修理依頼票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理依頼票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】
※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStationは、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容（接続ユーザ名/パスワード/無線暗号キー（WEP）等）を消去しますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後10日程度（弊社営業日数）を予定しております。
※修理させていただいた製品の保証期間は、元の保証期間の終了日又は、修理完了日より3ヶ月間のいずれか長い方となります。

製品の添付品販売（一部）、ダウンロード（ドライバ・ファームウェアなど）の代行サービス（有料）は下記のページをご覧ください。
添付品の販売（備品販売窓口）ページ　86886.jp/bihin/（http://www 不要）

ユーザ登録はこちらのページ **86886.jp/user/**（http://www 不要）より登録いただけます。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
②平日昼間の連絡先（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境（パソコン機種名、OS（Windows XP等）、周辺機器）
⑧製品以外の添付品（ACアダプタ、ケーブルなど）

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

弊社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

はじめにお読みください
2007年8月9日　初版発行
発行　株式会社バッファロー
PY00-33132-DM10-01　1-01　C10-012